

2026-5

MHC 会報



ナムチェバザール3440mの高さに、見事に満開に咲く、ネパール国花
ラリーグラス、後方の白い峰は、クスムカングルルー、6367m
撮影 鈴木 雅則

NPO 法人 松本ヒマラヤ友好会

MATSUMOTO HIMALAYA FRIENDSHIP CLUB (略称MHC)



事務所・本部 〒390-0852 松本市大字島立 4539 番地 7

TEL: 0263-47-6197 FAX: 0263-47-5685

E-mail : mhc@lily.ocn.ne.jp <http://www1.ocn.ne.jp/~mhfc/>



2026-5MHC会報



ネパール国花ラリーグラス

拝 啓

花々咲く陽光の中、穏やかな暮らしを、切に願う今日この頃、皆様には益々ご健勝にてご活躍の事と存じます。

さて、去る 5 月 16 日 (土) PM1:30 より松本市島立 MHC 記念館において、NPO 法人松本ヒマラヤ友好会第 27 回通常総会を開催。

初めに鈴木理事長のご挨拶があり、事務局の鈴木敬子事務局長から、臥雲松本市長、及びネパールの松本ヒマラヤ友好会ネパール支部長のサンタラムポハレル氏から、ヒラリースクール・クムジュン校運営委員代表、奨学基金事務局長パサンダワ・シェルパからの祝辞が寄せられていることが紹介、また寄せられた祝辞の中から、臥雲義尚松本市長の祝辞、「MHC のこれまでの交流の成果とそして MHC の活動が将来的な両地域の国際交流の礎となることへの期待」が読み上げられ、開催の運びとなりました。

議長に鈴木雅則氏、議事録署名人に折野和富氏、種田敏子氏を選出。会員総数 197 名のうち、正会員 12 名、そしてこの度、総会への正会員出席者 12 名(書面表決者 6 名含む)を数え、定款第 27 条に定める 1/2 以上の出席の定足数を得て、総会成立する旨を確認し、総会の議事に入りました。

鈴木理事長より令和 7 年度の事業報告、収支決算報告がされ、上條賢介監事より会計監査報告が行われ、出席者全員の拍手で承認されました。引き続き令和 8 年度事業計画、収支予算計画が鈴木理事長より説明、これについても出席者全員の拍手で承認されました。

役員の変更はありませんが、役員は総会の資料の通りです。

その他の審議事項、MHC 山岳保険については、三井住友海上火災保険代理店の佐藤保険事務所より配布の資料を使い、1泊2日、3泊4日タイプ、年間団体保険(別紙参照)について説明されました。また MHC の私達の小さな活動の積み重ねが、大きな国際協力事業へと発展していく事についての説明がされ、これらについても会員の理解を求め、協力をお願いしていく事で、出席者全員の拍手で承認されました。総会は PM3:30 議長を解任し、閉会と致しました。

今年度も皆様のご理解、ご協力を今まで以上にお願いする次第です。総会資料は、会員全員にこの会報と同封してお送りいたします。ご確認ください。



MHC 活動記念館外観



記念館玄関に咲くツツジ



出席した会員同士

総会は、登山経験豊富な、優しくな(?)顔つきの老練な会員が出席。会員同士が顔を突き合わせ、ジョークを交えた意見が飛び交い、穏やかな雰囲気の中で、各議題が審議され、承認されました。会員同士、これからも健康に留意し、皆元気に事業に参加できて、一緒に活動できることを、祈りながら PM3:30、散会としました。ご苦労様でした。

●これからの各事業について

1、文化交流事業

①上高地

バスターミナル2Fの食堂と上高地アルペンホテルへの物産品納入は、今年度からMHCは、事務局長高齢(76歳)のため、任意団体、PUR(ピュール)代表八木下泉氏が、「是非やらせてください。何が何でもやります」との固い決意(?)だったので、安易に販売権を譲渡し、中止してしまいました。

ところが、徳沢ロッジも同様に、任せていたのですが、困ったことに、ロッジに何の連絡もないまま、「納品もしていない」とドタキャンされてしまいました。事情を確認すると、PUR(ピュール)代表八木下泉氏側の勝手な理由で、徳沢ロッジは、上高地から8km、遠くて、利益が薄いと判断した、との事で納品を止めたとのこと。この取引のため、当初、ロッジの支配人を上高地へ呼び、PUR(ピュール)代表に面会してもらったのですが・・・

「何かいけないのですかと聞かれました。」あまり不誠実で、勝手すぎるので、もう任せておけないと判断し、PUR(ピュール)の取引は中止とし、ロッジに謝り、MHCが全責任を取ることになりました。上高地販売権の20年以上の苦労が水の泡となりました。

しかし今から、MHC 記念館の売れ残りの物産品をかき集め、MHC が持参することとしても、今後の為に、物産品が足りないので、これからネパールのパサングラ事務長(エベレスト登山の手配は得意ですがカトマンズでの物産集めは不慣れ)に注文しようと思っています。

PUR(ピュール)側は、「ただし中止は、徳沢ロッジだけで、バスターミナル食堂とアルペンホテルの売店では、儲かるので引き続き置きたいと」要望してきました。「どんなことがあってもやります。やらせてください」と言っていました。それは、「場所が良くて、簡単に儲かるのなら」の条件付きの腹づもり、だったのです。騙されやすい、お人好しのMHC側は、ようやく判り、目が覚めました。

彼ら(代表以外は、各支配人の話では、挨拶の礼儀も知らない男のスタッフが何人も同行しているようです。また八木下側には、いつも税理士がついていて相談しているとのこと)は山に興味もなく、登ったことがなく、徳沢までも、遠くて歩いて行きたくない。全く山とは無縁の利益優先の団体だったのです。

MHCとしては、仕事に誠実さがないと判断。またドタキャンが起こることを想定し、こういうことには不得手で、高齢な事務局長は、対応に苦慮しています。

②4/15, 上高地バスターミナル2F 会議室特設会場の写真展「上高地の美しい自然」「北アルプスの美しい自然」は、昨年度からの作品に15点ほど加え、総展示数95点を引続き同様に開催し、頑張っています。



2F 市営上高地バスターミナル2F 写真展特設会場 姉妹都市カトマンズ・グリンデルワルト 全95点紹介

※是非ご来場下さい。パネル写真 A1 版、A2 版、及び A3 版の売上は、国際協力基金に積み立てられ、MHC 奨学金支給及びヒラリースクール・クムジュン校学生寮運営資金に使われます。

※また、この写真展を小冊子にした「改訂版・上高地の美しい自然と槍穂高連峰&グリーンデールワルト・カトマンズ編(1冊 1000円)も同会場で好評で販売中。現在この冊子は、県立・長野図書館で3部資料保管され、1部は永年保存版にされることになりました。

④ネパール講座— 一般・会員向け・・・9月5日(土)午後 PM2:00～3:30

—第7回ネパール文化紀行、説明会開催—

鈴木理事長が、スクリーン映像を使い、解説します。・・・会場、MHC 記念館

第一部 ネパール・カトマンズの歴史、世界史的な文化遺産、ヒマラヤの大自然。

第二部 ネパール文化紀行の日程説明、松本—貸切バス—成田空港—カトマンズ—市長表敬—カトマンズ世界文化遺産探訪・MHCネパール支部の歓迎交流会—空路—ルクラ—車—サランコット 1600mへ—登山—アンナプルナ・マナスル展望—徒歩—ルクラから定期航空便—釈迦生誕地ルンビニ訪問—車—カピラ城訪問—ルンビニ—空路—カトマンズ—車—ヒマラヤ好展望地 2000mのナガルコット—車—カトマンズ—マウンテンフライトヒマラヤ・エベレスト展望—カトマンズ—MHC奨学生激励会—カトマンズ—成田—松本へ



カトマンズ盆地から北方に連なるヒマラヤ山群 表敬訪問 カ市旧王宮 アンナプルナⅡ峰 7937m

松本ヒマラヤ友好会山岳写真展開催

第7回ネパール文化紀行編・カトマンズ訪問、ヒマラヤ展望の作品や、日本の山々の作品も募集します。井上デパートアイシティ 21 での松本ヒマラヤ友好会山岳写真展開催について、会場：3階大ホール 現在依頼があるが、延期中。

理事長の体力の気力あれば、ネ文化紀行を実施した場合、その参加者や、一般市民から作品も募り、各賞を設け、開催を検討する。もし叶わぬ時は、80ページ程の写真集を、事務局で製作発行します。

2、山岳スポーツ振興事業・・・従来より、縮小して開催

「MHC 登山講習」ハイキング編を開催。

○6/6(土)～6/7(日)登山講習ハイキング編「初夏の上高地と乗鞍高原」

○ 詳細は、別紙パンフレット参照。

○10/24 (土)～10/25 (日) 登山講習ハイキング編「紅葉の上高地」

1、登山の注意と心得について・・・登山講習中に指導

山の装備の選び方から山の登り方、行動食や水分の摂り方、高山病等を学ぶ初歩的な医学、初歩的な栄養学知識を習得してもらう。⇒安全登山に役立つように

2、山岳写真撮影会を実施

参加者は、山岳写真撮影会にも参加できます、参加者の作品を講評後松本ヒマラヤ友好会山岳写真展などで展示発表します。



バクタプール旧王宮前広場



スワヤンプナートの仏陀像



どじょう池と乗鞍岳



乗鞍高原—ノ瀬園地

上高地の美しい自然



初夏の6月、新緑萌える大正池畔から仰ぐ、残雪の穂高岳 3190m



満開のコナシが咲く、飛沫を上げて流れる梓川畔から仰ぐ残雪の穂高岳 3190m

- 3、2027.1に計画する、「第7回ネパール文化紀行」に参加希望会員は、登山のための注意と心得を登山講習ハイキング編に参加し、体力調整づくりもして学んでください。

受講者は登山知識技術を習得することで、あらためて**安全登山についての認識**を深めて頂き、山岳に対する豊富な知識と経験を積んだ**愛好家として、また登山パーティーのリーダー**とし養成されていく事でしょう。

3、国際協力事業

- ①クムジュン校学生寮運営費の一部等、奨学生第30期生6名と31期生9名(大学入学後発表)計15名の奨学金と事務局運営費を支給していきます。詳細は、第27回総会資料を参照。

②国際協力事業基金の積立

寄付金、講演料、文化事業、物産展示販売の収益そしてMHC登山講習の参加費の一部が国際協力事業基金に積立てられます。**私達の小さな活動がネパールの青少年の教育**の為に役立っています。

・皆様のご理解とご協力、そしてご参加をお願い致します。

③MHCネパール支部は、

(Matsumoto Himalayan Friendship Club Nepal Chapter)

という名称でネパール政府に登録され、ボランティア活動を主に行っています。既に、カトマンズ市西側に流れる、ビシュヌマティ川(遺体を荼毘後骨灰を流す川でガンジス川の源流部をなす)河川敷清掃を進め、カトマンズ市の浄化活動を進めています。

被災したカトマンズ盆地を中心に、被災した青少年の為に、**教育支援**を進め、小中高等学校学生への通学用ザック、帳面等支給、親を亡くした学生らへの**奨学金支給**等も行っています。また、**市民のための献血活動**を行っています。**MHCネパール支部**には、現在**176名**の会員がいて、資金を出し合い、コロナ禍では一般の人々にも**マスク、手袋の配布**をしていました。

4、事務局から

- ①5/13(水) 監事上條賢介氏による2025年度会計監査が行われる。
②5/16(土) PM1:30~3:30MHC記念館で**MHC第27回通常総会**を開催。

④MHC山岳保険について・・・別紙参照

- 1、登山講習1泊2日800円/一人、3泊4日1,000円/一人は、**各登山講習会参加毎**に加入。参加費の中に含まれます。入院通院費、救援者費、賠償責任費、死亡後遺障害費、携行品霜害賠償などが設定されています。契約内容をご確認ください。
- 2、**しかし年間契約がお勧めです**。団体契約扱いで入院通院費も支払われ、個人賠償責任保険金額は2億円となり、保険金額は年一人**19,680円**となります。**仕事**中の**傷害**のほか、**任意**で行くハイキングや登山など**全て保険対象**となります。・加入希望者は**6/15**までに**事務局へ連絡**下さい。**70歳以上**も加入可です。大変お得です。ハイキングや思い付き登山なども適用されます。
※安全のため団体保険加入をお勧めします。



梓川の流れと新雪焼岳



梓川畔とカラマツの紅葉



2024.1 MHC 奨学生激励



カ市と協働する河川清掃活動



学校へ教育文具提供



市民のための献血活動

⑤年会費納入について・・・早速にお振込みしていただいた会員の方々には、お礼申し上げます。
ネパールへの国際協力資金は、八十二銀行経由で送付します。

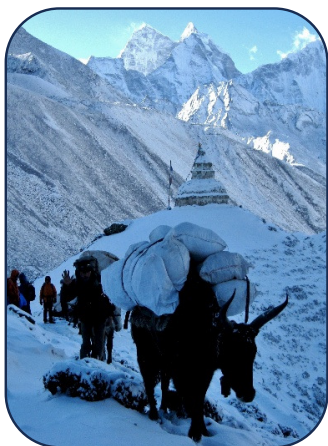
●皆様のご理解と、ご厚意に応えられるように、誠心誠意頑張っております。よろしく。



勉学に勤しむ、クムジュン校生徒ら。遠距離でも村から山を越え、寒い日も勉学のため通います。ここは標高3790mのエベレスト山麓です。

クムジュン校とエベレストを望む

MHC エベレスト撮影紀行



荷を担うゾッキョ

カラパタール 5545mから望むエベレスト左 8848m

夕照に輝く世界最高峰エベレスト

敬 具

令和 8 年 5 月 24 日

MHC 会員各位

NPO 法人 松本ヒマラヤ友好会事務局



今日は、母子2人で、クムジュン村からゾッキョ2頭を連れて、食料の買い出しだ！

撮影 鈴木 雅則 後方の峰は、タムセルク 6623m